

第二文字之教

全

福澤諭吉著

第二文字之教

明治六年

十一月

福澤氏版



第二文字之教

第一教

福澤諭吉

著



爰_ニ

二名

身

丈

名

瘦_{タル}

肥_{タル}

低_シ

爰ニ二名ノ人アリ一人ハ肥テ身ノ丈

低シ一人ハ瘦テ身ノ丈高シ肥タル者
ノ名ヲ權助ト云ヒ瘦タル者ノ名ヲハ
兵衛ト云フ

第二教

故ニ 少シ 可ラス 文章

上戸 下戸 酒客 餅

權助ハ酒ヲ好ミハ兵衛ハ餅ヲ好ム故
ニ權助ハ上戸ニテハ兵衛ハ下戸ナリ
○上戸ノヲ文章ニハ酒客ト書ク
モアリ○酒客ハ良キ人ト云フ可ラス
故ニ子供ハ少シモ酒ヲ飲ム可ラス

第三教

一昼 一夜 一時 一分時

セカンド 平均 一箇月 一年

一昼一夜ヲ一日ト云フ。一日ヲ二十四
ニ分テコレヲ一時ト云フ。一時ヲ六十
ニ分テコレヲ一分時ト云フ。一分時ヲ
六十ニ分テコレヲ一セカンドト云フ
○月ニ大小アレ凡平均シテ凡ソ三十
日ヲ一箇月トシ十二箇月ヲ一年トス

第四教

禽獸

暑シ

寒シ

盗ム

死ス

談ス

可シ

ト虫凡

山ニハ登ル可シ天ニハ登ル可ラス○
人ト談ス可シ禽獸ト談ス可ラス○餅
ハ喰フ可シ石ハ喰フ可ラス○夏ハ暑

シト虫氏冬ハ寒シ○善人ハ死スト虫
氏人ノ物ヲ盗マス。人ノ物ヲ盗ムモノ
ハコレヲ悪人ト云フ可シ

第五教

昔

或ル

處

翁

婆

慾

主人

留主

雀

糊

其

深キ

飼フ

由ル

怒ル

放ツ

昔或ル處ニ良キ翁ト慾深キ婆アリ翁

ハ山ニ木ヲ切りニ行キ婆ハ河ニ洗濯

ニ行キタリ

婆河ヨリ歸テ見レハ家ニ飼タル雀主

人ノ留主ノ間ニ其朝婆ノ子リタル糊
ヲ残ラズナメタルニ由テ大ニ怒リ雀
ノ舌ヲ切テ放タリ
昔卷ノ奥第六教

或人 書生 天下 大言

支配ス 明ニ 亦 信ス

疑フ 勝ツ 治ム 云ク

娘云ク余ヨク書物ヲ讀ム○犬云ク余
ヨク猫ヲ捕ル○鳥云ク余ヨク空ヲ飛
フ○或人云ク余ヨク天ニ登ルトコロノ
言ハ信ス可ラス○子供云ク余ヨク馬
ニ乗テ水ヲ游クトコロノ言ハ信ス可シ
亦疑フ可シ○人足云ク余ヨク書物ヲ

讀テ明ニ物事ノ道理ヲ知ルトコロノ言
ハ疑フ可シ○胤云ク余ヨク猫ニ勝ツ
トコロノ言ハ大言ナリ○書生云ク余ヨ
ク天下ヲ支配シテコレヲ治ムトコロノ
言ハ大言ナリ○胤云ハ余ヨク空ヲ飛

第七教

時刻 今朝 面會 既ニ

過ル 起ル 得ル 後ル

春過テ夏既ニ來ル○朝起テ日既ニ高
シ○時刻既ニ後レテ蒸氣車ニ乗ル
ヲ得ス○今朝ノ餅ハ既ニ長松ニ喰ハ
レタリ○今朝余ガ君ノ家ニ行キシ片
君ハ既ニ外ニ出テ、留主ナリシユハ
面會スルヲ得サリシナリ

第八教

盡ク 悉皆 芋 池

軍 兵隊 屯所 用意

衣裳 死ス 涸ル 整フ

人ハ盡ク死スルモノナリ○人ハ悉皆

死スルモノナリ○女ハ悉皆芋ヲ好ム

○子供ハ悉皆砂糖ヲ好ム○池ノ水涸
レテ魚盡ク死ス○軍ノ用意既ニ整ヒ

兵隊ハ盡ク屯所ヲ出タリ○衣裳ノ用
意既ニ整ヒ三人ノ娘手ヲ引テ出ツ

第九教

下女 地球 古人 兩人

誤解

誤ル

思フ

同シ

時刻ヲ誤ル○日ヲ誤ル○猿誤テ樹ヨ
 リ落ツ○下女誤テ茶椀ヲワル○娘誤
 テ指ヲ切ル○地球ヲ四角ナルモノト
 思ヒシハ古人ノ誤ナリ○兩人トハ二
 人ノ一ナリ○兩人ノ兩ノ字ハ兩手ノ
 兩ノ字ニ同シ○兩人ト書キタルヲ兩

人ト讀ムハ誤解ナリ○西ノ字ヲ兩ト
 讀ムモ亦誤解ナリ

第十教

形

用

世

中

無學

文盲

為ス

似ル

月ノ形圓シ○ニギリ飯ノ形三角ナリ

○猿ノ形。人ニ似ル。○船ハ海ヲ渡ルタ
メノ用ヲ為ス。○煙管ハ煙草ヲノムタ
メノ用ヲ為ス。○物事ノ道理ヲ知ラザ
ルヲ無學ト云ヒ。文字ヲ知ラザルヲ文
盲ト云フ。無學文盲ナル人ハ世ノ中ニ
アリテ世ノ中ノ用ヲ為サズ。○或人云
ク金一兩二兩ノ兩ト云フ字ハ或ハ西
ト讀ムコトモアリト。コノ人ハ無學文盲

ニシテ形ノ似タル文字ヲ見誤リタル
者ナリ

第十一教

大坂

新聞

同處

珍シキ

火事

手拭

被ル

躍ル

大坂ヨリ傳信機ノ新聞ヲ得タリシニ

今日午後三時ヨリ同慶ニハ火事アリ
シト云フ○或ル家ノ猫手拭ヲ被テ躍
リタリト云フ者アリ珍シキ新聞ナレ
凡信ス可ラス○或ル書生讀書ヲ勉強
セスシテ飯ヲ喰ヒ過キ病人ニ為リタ
リト云フ珍シカラヌ新聞ナリ余思フ
ニコノ書生ハ朝起ルヲモ遅カル可シ
第十二教

産物

處々

瀬戸物

陶器

絹糸

綿

食物

日本

河内

肥前

外國

出来ル

輸出ス

積出ス

多キ

倒ニ

産物トハ處々ノ地ニ出來ル品物ナリ
 ○産物ノ二字ヲ或ハ倒ニシテ物産ト
 書クトモアリ○瀬戸物ハ肥前ノ産物
 ナリ綿ハ河内ノ産物ナリ○瀬戸物ノ
 一ヲ或ハ陶器ト書クトモアリ○日本
 ノ産物多キ中ニモ、ヲモナルモノハ米
 麥、絹糸、茶ナリ米麥ハ日本人ノ食物ト
 為シ絹糸、茶ハ外國へ輸出ス○輸出ス

ルトハ積出スヲナリ

第十三教

商賣 交易場 横濱 長崎

箱館 我國 日ニ 輸入ス

品物ヲ賣買スルヲ商賣ト云フ○外
 國人ト商賣スル處ヲ交易場ト云フ○

日本ニテ大ナル交易場ハ横濱、長崎、箱館ナリ。○交易場ニテハ日ニ我國ノ産物ヲ輸出シ外國ノ産物ヲ輸入ス

第十四教

學問 成長 種 苗

港 湯 未 必 必 必

沸 夕 照 ル 蒔 ク 怠 ル

人未夕来ラズ。○夜未タアケズ。○日既ニ高クシテ子供未夕起キズ。○下女云ク湯ハ既ニ沸キタレ。凡飯未夕出來ズ。○風悪クシテ船未夕港ヲ出テズ。○雨降りシ後ハ日必ス照ル。○種ヲ蒔ケバ苗必ス生ス。○學問ヲ怠ル子供ハ成長

ノ後必ス無學文盲ノ人ト爲ル可シ

第十五教

飛脚

力役

身分

政府

役人

仕事

象

心

易シ

難シ

以テ

働ク

手ヲ以テ働ク者ハ職人ナリ○足ヲ以テ働ク者ハ飛脚ナリ○鼻ヲ以テ働ク者ハ象ナリ○心ヲ以テ働ク者ハ學者ナリ○手足ヲ以テ働クヲ力役ト云フ○力役ハ易シ學問ハ難シ○難キ仕事ヲスル者ヲ身分重キ人ト云ヒ、易キ仕事ヲスル者ヲ身分輕キ人ト云フ○政府ノ中ニテモ高キ役人ハ心ヲ以テ

働クガ故ニコレヲ身分重キ人ト云フ
可シ

第十六教

虎

鷹

鯨

血

類

集ル

交ル

温ナリ

猫ハ虎ノ類ナリ
鷹ハ就鷹ノ類ナリ

○鯨ノ血ハ温ナリ故ニ魚ノ類ニアラズ
○獣ノ類ナリ
○虚言ヲ云フ者ハ盜賊ノ類ナリ
○外國人モ日本人モ同シ人ノ類ナリ
○類ヲ以テ集ルトハ善人ハ善人ト交リ
○惡人ハ惡人ト交ルヲ云フ

第十七教

芝居

妻

上達ス

寢ル

此 斯ル 斯ノ如ク 又

茶ヲ飲テ又水ヲ飲ム。○横濱ニ行テ又大坂ニ行ク。○此男ハ酒ヲ飲ミシ上ニ又餅ヲ喰フ。斯ル男ハ上戸トモ云フ可シ。亦下戸トモ云フ可シ。○此子供ハ起テ喰フテ又寝ルノミ。毎日毎夜斯ノ如クシテハ學問ノ上達スルナカル可シ。

シ。○此娘ハ芝居ヲ好ムノミ。ニテ書物ヲ好マズ。斯ノ如クシテハ成長ノ後、人ノ妻ト為ルヲ難カル可シ。

第十八教

疊 尺 巾 枚

坪 四方 一反 一畝

一步 地面 数 何程

疊ノ長サハ六尺、巾ハ三尺ナリ。疊ニ枚ノ廣サヲ一坪ト云フ故ニ一坪ハ六尺四方ノ廣サナリ。百姓ノ言葉ニ地面ノ廣サ三百坪ヲ一反ト云フ一反ヲ十分テ一畝ト云フ一畝ヲ三十分テ一步ト云フ故ニ一步ハ一坪ノ一ナリ。

畝ハ三十坪ナリ一反ハ三百坪ナリ。〇爰ニ三反四畝一步ノ畑アリ其坪ノ数何程ナルヤ

第十九教

左官 壁 鑄物師 鍋

建具屋 戸 障子 仕立屋

釜務

世帯

塗ル

家ヲ建ルハ大工ノ仕事ナリ○壁ヲ塗ルハ左官ノ仕事ナリ○戸障子ヲ作ルハ建具屋ノ仕事ナリ○鍋釜ヲ作ルハ鑄物師ノ仕事ナリ○衣服ヲ作ルハ立屋ノ仕事ナリ○茶椀ヲ賣ルハ瀬戸物屋ノ仕事ナリ○外ノ務ハ主人ノ仕

事ナリ○内ノ世帯ハ妻ノ仕事ナリ○子供ニハスル仕事ナシ故ニ讀書手習ヲ以テ仕事ト為スナリ

第二十教

東京 地形 土臺 座鋪

普請 檜 杉 板

瓦

据ル

置ク

張ル

葺ク

成ル

住居ス

平ニ

東京ノ町ニテ地面ヲ買ヒ其廣サ五百坪アリ地形ヲ平ニナヲシテ石ヲ据ヘ、檜ノ土臺ヲ置テ、杉ノ柱ヲ立テ、壁ヲ塗リ、板ヲ張リ、屋根ハ瓦ニテ葺キ、座鋪ニ

ハ疊ヲシキ普請既ニ成リシ上ニテ此家ニ住居セリ

第二十一教

柳

桐

松

昨日

枯ル

焼ル

宜シ

唯

九人ノ兄弟ノ内八人死シテ唯一人残

ル○秋ノ風ニ柳ノ葉モ桐ノ葉モ枯レ
 テ唯松ト檜ノ葉ノミ青シ○昨日ノ火
 事ニ住居ノ家ハ盡ク焼ケテ唯土藏ノ
 ミ残ル○子供ハ唯書物ヲ讀ムノミニ
 テハ宜シカラズ讀書ノ間ニハ樹ニノ
 ボリ又ハ水ヲ游テ遊ヒ樂ム可シ○田
 ニ出來タル米ハ悉皆政府ニ取ラレテ
 百姓ハ唯麥ト芋ノミヲ喰フ

第二十二教

梯子 旅行 婚禮 吊

席 棚 臺所 笑フ

荷フ 着ル 都合 不都合

梯子ヲ荷フテ旅行スルハ不都合ナリ

○婚禮ノ席ニテ泣キ吊ニ行テ笑フハ
 不都合ナリ ○臺所ノ前ニ井戸アルハ
 世帯ノタメニ都合宜シ ○身ノ丈高キ
 男ハ棚ノ物ヲ取ルニ都合宜シト虫厄
 人ノ衣服ヲ借テ着ルニハ不都合ナリ
 ○虚言モ始ハ都合宜シキニ似タレ厄
 後ニハ必スコレニ由テ不都合ヲ生ス
 可シ

第二十三教

田舎 往来 海岸 時計

埋ム 堀ル 古キ 新シキ

新ニ 別ニ 奇麗 名ツク

新ニ山ヲ開テ田舎ニ往来スル道ヲ作

リコレヲ新道ト名ツク○新ニ海ヲ埋
メテ町ト為シコレヲ海岸ノ新道ト名
ツク○世ノ中ニハ山ヲ掘テ金ヲ出タ
ス者モアリ地ヲ掘テ金ヲ埋ル者モア
リ○古キ鋏砲ヲ賣テ新シキ時計ヲ買
フ○ヨキ子供ハ芝居ヲ見ズトモ別ニ
樂ムコトアリ○別ニ奇麗ナル家ヲ建
テ、祖父祖母ノ住居ト爲ス○古キ馬

車ハ其マ、殘シテ別ニ又人力車ヲ買
フ
第二十四教

安全 安危 喧嘩 家内

危シ 睦シ 背ク 在リ

猿ノ樹ニノボルハ安全ナリ子供ノ屋

根ニノボルハ危シ○新シキ蒸気車ニ
乗テ陸ヲ走ルハ安全ナリ○古キ船ニ
乗テ海ヲ渡ルハ危シ○誠アル人ノ身
ハ安全ナリ○偽ヲ云フ人ノ身ハ危シ
○兄弟姉妹睦シクシテ父母ノ言ヲ聞
ケバ家内安全ナリ○親子喧嘩スレバ
家内危シ○人ノ身ノ安危ハ誠ト偽ト
ニ在リ

第二十五教

敵 雨露 藝 防ク

守ル 助ク 學ブ 若キ

兵隊ハ敵ヲ防テ國ヲ守ル○犬ハ盜賊
ヲ防テ家ヲ守ル○屋根ハ雨露ヲ防キ
戸障子ハ風ヲ防ク○兄ハ弟ヲ助ケ親

ハ子ヲ助ク。○老人ヲ助ケテ往來スル
ハ年若キ者ノ務ナリ。○藝ハ身ヲ助ク
トハ人ニ學ヒ得タル藝アレバ其身ノ
タメニ為ルト云フコナリ。○學バザル
子ニハ藝ナカル可シ

第二十六教

竈

桶

皿

火鉢

膳

飯櫃

夜具

蒲團

帷子

單衣

袷

綿入

帶

羽織

机

硯箱

入用

成就

欠ク

一切

一揃等左右

家ノ普請既ニ成就セシ上、入用ノ品ハ
左ノ如シ竈、桶、皿、茶椀、鉢、火鉢、膳椀、飯櫃、
等世帶道具一切、夜具、蒲團、帷子、單衣、袷、
綿入、帶、羽織、等夏冬ノ衣服一揃ナリコ
レヲ衣食住ノ品ト云フ○右ノ外ニ机、
硯箱、筆墨紙モ欠ク可ラザルモノナリ

第二十七教

人形 景色 銘酒 徳利

菓實 世間 異見 孫

愛ス 悪ム 親シム 相互ニ

娘ハ人形ヲ愛ス○子供ハ犬ヲ愛ス○

學者ハ山河ノ景色ヲ愛ス○酒客ハ銘
 酒ノ徳利ヲ愛ス○子ハ父母ヲ親シム
 ○孫ハ祖母ヲ親シム○女ハ芝居ト衣
 裳トヲ好ム○子供ハ砂糖ト菓實トヲ
 好ム○善人ハ人ノ虚言ヲ惡ム○惡人
 ハ人ノ異見ヲ惡ム○世間ノ人ニ交ル
 ニハ相互ニ惡ム可ラス相互ニ親シミ
 愛ス可キナリ

第二十八教

終日 何事 死人 意味

趣意 字義 合点 等シ

解ス 徒ニ 細ニ 詳ニ

紙ノ白キヲ雪ニ等シ○顔ノ黒キヲ墨

文字之教二
ニ等シ○終日何事ヲモ爲サブル者ハ
死人ニ等シ○字ヲ讀ムトヲ知テ其意
味ヲ知ラザル者ハ字ヲ知ラザル者ニ
等シ○文章ヲ解ストヲ知テ其道理ヲ
知ラザル者ハ文章ヲ解サブル者ニ等
シ故ニ讀書ノ趣意ハ徒ニ紙數ヲ多ク
讀ムヨリモ少シク讀テ細ニ其字義ヲ
解シ詳ニ其道理ヲ合点スルニ在リ

第二十九教

無病

都會

奉公

騷動

休日

朋友

錢

願フ

求ム

尋ル

失フ

拾フ

父母ノ無病安全ヲ願フ○世間ノ新聞

ヲ求ム ○都會ニ出テ、奉公ノ口ヲ求
ム ○良キ種ヲ求テコレヲ蒔ク ○職人
ハ錢ノ多カラシトテ願フ ○奉公人ハ
休日ノ多カラシトテ願フ ○田舎ノ男
東京ニ來テ昔ノ朋友ヲ尋ル ○火事ノ
騷動ニ由テ一枚ノ羽織ヲ失フ ○人ノ
失ヒシ物ヲ拾フトアラバ必ず其主人
ヲ尋テコレヲ返ス可シ

第三十教

講釋

途中

遠國

端

橋

塾

悪事

焚ク

眠ル

終ル

殺ス

於テ

下女、臺所ニ於テ火ヲ焚ク ○書生講釋

ノ席ニ於テ眠ル○途中ニ於テ飛脚ニ
 逢ヒ遠國ノ新聞ヲ聞ク○日本ヨリア
 メリカニ至ルマデ傳信機アリ○此町
 ノ西ノ端ヨリ東ノ端ニ至ルマデ四ノ
 橋アリ○塾ノ講釋ハ毎日朝ヨリ始リ
 昼十二時ニ至テ終ル○雨降りテ水ノ
 至ラザル所ナシ○此男ハ偽ヲ云ヒ物
 ヲ盗ミ家ヲ燒キ人ヲ殺ス等其惡事至

ラザル所ナシ

第三十一教

約束 違約 拵合 様々

双方 鳩 豆 使

遣ル 違フ 定ル 與フ

鶏ニ米ヲ與フ ○鳩ニ豆ヲ與フ ○使ヲ
遣ル ○豆ノ使ニ鳩ヲ遣ルハ危シ ○猫
ニ魚ヲ守ラシムルハ危シ ○人ヲ遣テ
商賣ノ事ヲ掛合フ ○様々掛合ノ上双
方ノ約束始テ定ル ○約束ハ既ニ定リ
タレ氏未タ其品物ヲ與ヘス ○約束ヲ
違フルト云フ違約ト云フ違約ハ虚言ナ
リ ○虚言ヲ云フヨリモモノ云ハザル

ヲ良シトス ○違約スルヨリモ約束セ
ザルヲ良シトス故ニ出來難キトハ初
ヨリ約束ス可ラス
第三十二教

工夫 真似 狂人 西洋

縫フ 醉フ 能ハス 非ス

酒ニ酔テ躍ル人ハ狂人ノ真似スル者
ナリ○人力車ヲ引ク人ハ馬ノ真似ス
ル者ナリ○日本ノ水車ハ西洋人ノ工
夫ヲ真似タルモノニ非ス○飯ヲヨク
炊クハ下女ノ工夫ニ在リ○衣服ヲヨ
ク縫フハ娘ノ工夫ニ在リ○蒸気ノ道
具ハ西洋人ノ工夫ナリ○文字之教ハ
福澤ノ工夫ナリ○真似スル者ハ工夫

スルヲ能ハズ

第三十三教

自由 自在 進退 一步

兵卒 進ム 退ク 烈シ

強キ犬ハ虎ニ向テ進ム○弱キ兵卒ハ
敵ヲ見テ退ク○風烈シクシテ船進ム

「能ハズ○蒸氣船ハ進ムモ退クモ自由自在ナリ○肥タル男ハ進退不自由ナリ○一日勉強シテ二日怠ルハ一步進テ二歩退クカ如シ○進ム「速キモノハ退ク「モ亦速シ○進ムノ「ニテ退カザルモノハ鍊砲ノ玉ナリ

第二文字之教終



福

21-10

著作